

社会福祉法人五常会 平成26年度事業報告

定款に記載された人間愛、尊厳をもとに施設福祉・在宅福祉とも地域福祉の拠点として、利用者満足度の高い事業展開ができる法人を目指した。

事業計画	当初事業計画	実施状況
評議員会	平成26年 5月 8月 11月 3月【最低年4回実施】	年4回実施(5月17日・8月2日・12月12日・3月20日)
理事会	平成26年 5月 8月 11月 3月【最低年4回実施】	年7回(6日)実施(5月17日・7月4日・8月2日・10月21日・12月12日・3月20日)
監事監査	平成26年 5月	平成26年5月9日実施 10月21日監査立会 12月19日監査回答確認
法人施設長会議	偶数月	6月3日 7月5日 9月13日 2月14日
第三者委員会	平成26年 4月 10月	7月3日 12月9日【岐阜研修会】

項	詳細
役員研修会	平成26年8月28日 垂井・いぶき苑(建替)/大垣優・悠・邑(多床室新築)見学
瀬戸の里/周辺測量	平成26年9月30日 10月5日
岐阜県監査対応	10月21日政策課法人監査 8月7日清和寮9月22日二ツ森10月21瀬戸の里 振興局
地域対応	夏祭等地域交流行事実施 ・ 苗木地区年2回配食サービス協力 ・ 地域清掃2回参加 汚水処理数値の、管理状況月例報告提出
平成26年度中に取り組む課題	
	達成状況
収支状況の改善	
特養・養護での稼働率向上	
在宅部門での現状の維持	

適正な人員の確保配置確保と 有資格者の確保	
民間サービスの分析と実態把握	
建替・大規模改修計画	第6期 中津川市保険福祉計画に申請・採用
会計上の求償行為放棄の検討	平成26年度 決算において処理完了
公開性・公益性をもった事業活動	ホームページでの役員公表・事業内容の公表など

継続的取組課題

事業計画項目	内容	平成25年度中の概要(詳細は各事業所の事業報告)
顧客満足度の向上	ハード、ソフトの両面からも常に利用者様を受け入れる体制に不備がないよう、見直すと共に各施設の事業計画に基づき利用者本位で	家族会・満足度調査等からも比較的良好、ただ在宅を中心に競合施設が急増し施設・センターとしてレスパイトケアのみでは難しくなる。機能訓練等、特色・機能が必要だが対応できていない
適正な人員の確保	慢性的なすべての事業所で介護職・看護職等の不足の解消	特にみずなみ瀬戸の里の介護職、中津でのケアマネなど人材確保の厳しい状況が続く 今後さらにマンパワー不足が深刻化する恐れ、頻繁な広告求人などで対応
定員確保で経営基盤安定化	事業所の増加により利用者の選択肢が広がり、厳しい状況	施設部門は前年並みだが、介護度の低下などで収支が取れない事業所が拡大。デイサービス部門の新設も続く。危機感を職員で共有。今後の改善必要
機能充実と内部体制の強化	大規模法人としてのシステム構築	現状維持
地域包括ケア体制確立検討	在宅の中でも24時間対応できるサービスがシームレスに	平成27年度介護保険制度改正あり。26年度中で動向を把握・分析し対応する準備期間
看護職員と介護職員の連携	胃ろう・口腔内たんの吸引、全介護職員研修実施とケア連携	職員研修は達成・事業所登録と実際のシステム構築中
すべてのリスクマネジメント	介護事故の撲滅、職員の健康管理に止まらず、苦情解決や経営のリスク等にも柔軟な対応	大きな介護事故・感染症等の発生事案はなし。高齢者への経済的虐待などの影響で介護保険利用者負担等の徴収などの懸念
地域密着し貢献できる運営	利用者本位の運営を常に心がけ、地域から信頼されるよう尽力して	西支援センター移転・他事業所も地域の社会資源となるよう交流・研修受入等尽力。特養待機者も一時に比較し減少傾向
スケールメリットの活用	運営、業者選定等でスケールメリットを最大限活用、情報交換を密	事務部門ではかなりの部分で情報共有、平準化は進む。業者選定や現状の職員確保の現況での人的異動等には難しさ
健全な事業運営	所轄庁等の指導等を真摯に受け止め、社会福祉法・介護保険法・労働関係法等について税理士事務所・社労士等の指導を受けながら法令遵守	岐阜県政策課、労働基準監督署等の指導監査あり。指導事項については理事・評議員会等で報告・改善済。介護保険改正で体制に準拠か否か確認必要